

## 4. 地

## 勢

房総の中央山間部は土地も高く特に房総の南部には鋸，富，高塚，愛宕，清澄，鹿野，鬼泪等200～300m級の丘陵が連らなっている。また平久里，三原，加茂，夷隅，小櫃，小糸，湊，一宮，養老等の諸川は，丘陵起伏する間を縫い，東京湾および太平洋に注いで大いに灌漑の便を助け地味は肥沃である。

北総地帯はおおむね平地で西部は一帯に沃田広野が連らなり印旛，手賀，栗山，鹿島等の沼川が散在し，東南は平地の間に多少の起伏がみられ，利根，江戸の両河川は東北西の三面を囲み，茨城，埼玉の二県および東京都との境界をなしている。なお，海岸線の長さは382km余にわたり，房総の海浜は屈曲多く大小の島がその間に点在して天然の景勝に富み，港湾漁場は至る所にみられ，しかも暖流は近海を洗い，魚族の群来が絶えない。